

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】

MAINICHI

新毎日
新聞日

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド

www.gaido.jp

vol.512・4月24日号 毎週木曜発行 4面にプレゼント情報!

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5久郷 勲さん
(近江八幡市在住 72歳)

篠田の花火保存会代表理事

花火奉納 仕掛け花火 ナイアガラ銀滝(2013年)
全長35m、落下差16m素敵
な人人を元気にする花火
伝統の技を 地域へ 東北へ

近江八幡で200年以上続いている「篠田の花火」(国選定無形民俗文化財)。毎年5月4日に近江八幡市の篠田神社に奉納される古式の仕掛け花火で、巨大な花火絵が約4000人の見物客を魅了する。戦争で一時期中断し、廃絶の危機にひんしたが、篠田の花火保存会の久郷勲さんをはじめとするメンバーの奮闘によって、今日まで伝えられている。

新しい仕掛け毎年考案

1543年に種子島へ鉄砲が伝来したわずか12年後、この地に火薬製造技術が伝えられ、火薬に必要な硝石(硝酸ナトリウム)作りが農民の副業となった。江戸時代中期になると、これらの技術を使って農民の娯楽として花火の神事が始まったという。

高さ10m、幅20m以上もの大規模な仕

掛け花火が奉納されるようになったのは1907年からで、毎年新しい図案が考えられてきた。

保存会では古式にのっとって製造された火薬を使う花火を「和火」と呼び、化学薬品を使った花火「洋火」と区別している。大小さまざまな花火が打ち上げられた後、最後に大きな「和火」に点火された光景は、まさに「夜空に輝く芸術」と呼ぶにふさわしい。

「もっと綺麗に」

久郷さんは「篠田の花火」の火薬取り扱いの元締めを務める家に生まれた。2歳のときに父が亡くなり、小学2年生のときから自治会の会議に出席するなど、幼いころから花火にかかわってきた。第二次世界大戦で篠田の花火は一時期中断したが、

52年に復活。54年に市指定文化財、58年に県指定文化財に選ばれた。

30年ほど前、火薬製造試験に合格した久郷さんは、同じようなモチーフの仕掛け花火ではなく、その年にあったタイムリーな話題をテーマとして取り上げ、絵柄に反映させるようにした。

「絵で感動を与えたい。硫黄の紫色をもっと綺麗に見せたい。火が確実に

全体に回るようにしたい」

より素晴らしいものを作ろうという久郷さんの情熱が約120人いる保存会のメンバーに伝わり、会の雰囲気は変わっていった。

85年、久郷さんは「建築で時代と信仰を視る」をテーマに、仕掛け花火の図案に鳴門大橋を提案。鳴門の渦潮を蚊取り線香のような

花火で表現した。これが観客に好評で、農協の全国紙にも紹介された。

被災者を勇気づけたい

東日本大震災が発生した2011年も、花火で被災者を元気づけようと予定通りに開催。その年の10月に福島県郡山市で開かれた「第11回全国伝統花火サミット」で全国の伝承花火の団体と共に花火を披露し、1万人の観客を勇気づけた。

和火・絵題「母子再会の図」
阿波人形浄瑠璃「巡礼お鶴とお弓の段」(2011年)

「その日は途中で雨が降り出し、火が消えそうでしたが、『頑張れ! 頑張れ!』の大声援のもと、最後まで無事に続けられたときはうれしかったですね。花火は人を元気にする力があると感じました」

(取材・鎌山)

詳しくは
www.gaido.jp/suteki

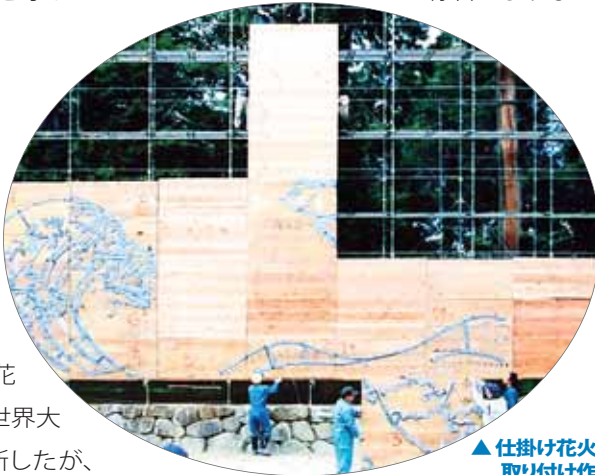
篠田の花火

●場所: 篠田神社(近江八幡市上田町1615)
●時間: 21:00ごろ～ ●料金: 鑑賞無料
※雨天時は翌日に順延

篠田の花火保存会

●0748-38-0533

滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読申し込みはフリーダイヤル0120-468-012

▲仕掛け花火の
取り付け作業東近江市
五個荘

商家に伝わる

武者人形
めぐり

IN GOKASHO

ゴールデンウィーク特別展示 那須与一 ― 鎧 ― ABUMI

場 所 五個荘近江商人屋敷 中江準五郎邸 期 間 5月1日(木)～6日(火)

4/15(火)～5/31(土)

開催 午前9:30～午後4:30
時間 (金堂まちなみ保存交流館は午後4:00まで)

休館日:月曜日、祝日の翌日(4/28、30は開館)

会 場	入 館 料
五個荘近江商人屋敷 外村繁邸 ☎0748-48-5676	■3館共通券 大人 600円/小中学生 300円 ※20名様以上団割有
五個荘近江商人屋敷 外村宇兵衛邸 ☎0748-48-5557	
五個荘近江商人屋敷 中江準五郎邸 ☎0748-48-3399	
五個荘近江商人屋敷 藤井彦四郎邸 ☎0748-48-2602	大人 300円/小中学生 100円 ※20名様以上団割有
金堂まちなみ保存交流館 ☎0505-801-7101	無料
八年庵 ☎0748-48-2009	大人 500円
観峰館 ☎0748-48-4141	大人 500円/高校生・学生 300円 /中学生以下 無料